

上智大学 グローバル30の取組

英語プログラムの新規開設

国際的な環境問題に対処する人材に対するニーズの高まりを受け、環境系の3つのプログラムを開設。65年に渡り英語によるカリキュラムを提供してきた経験とノウハウを活用しプログラムを開発。

グローバル30の英語プログラムは、既存の日本語による学部／研究科に併設されており、世界各国からの留学生と日本人学生と交流が進むことで、学生だけでなく組織全体のグローバル化を促進。

■ 地球環境学研究科国際環境コース

- ・2011年9月開設
- ・世界的な視野を持って地球環境問題に取り組むグローバル人材を育成
- ・多彩な専門分野をカバーする8名の研究指導教授と20以上の環境関連科目。
科目一例：Environmental Economics/Business and Economics/Environment & Development in Developing Countries/Environmental Law/Environmental Science & Technology/Global Environmental Policyなど
- ・学生数36名* (中国、韓国、タイ、ラオス、ベトナム、インド、ロシア、サウジアラビア、ドイツ、コロンビア、オーストラリア、日本)



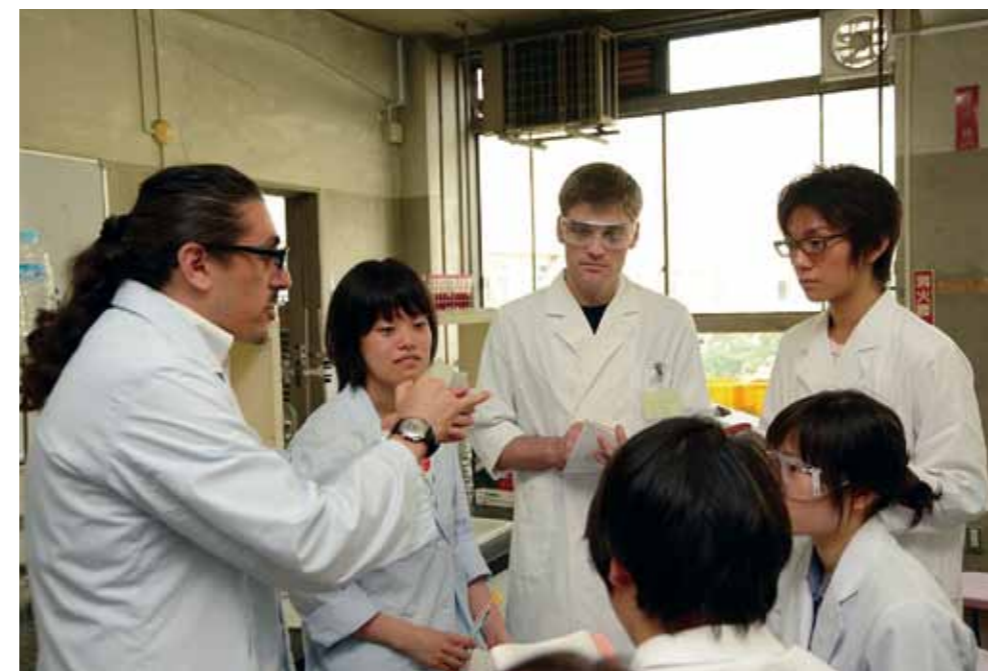
地球環境学研究科学生の活動風景

■ 理工学部グリーンサイエンス／エンジニアリング コース

- ・2012年9月開設
- ・環境問題の研究や環境技術の開発を各専門領域や分野横断的な複合知を駆使して行う
グリーンサイエンスコース - 物理学／化学／生物化学／材料工学
グリーンエンジニアリングコース - 物理学／電気工学／機械工学
- ・学生数12名* (アメリカ、韓国、インド、インドネシア、ポーランド、日本)

■ 理工学研究科グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

- ・2013年9月開設
- ・グローバル30当初の計画にはなかったが、学部英語コースの波及効果と各方面からのニーズに応じて開設
- ・"環境とサステナビリティ"に関連する研究に重点を置く
- ・既存の理工学研究科の8つの領域の教員100名が研究指導を担当
機械工学／電気・電子工学／応用科学／化学／数学／物理学／生物化学／情報学
- ・学生数4名* (インド、オマーン、タイ、ブラジル)



理工学部英語コース実験風景

※学生数は2013年10月現在

大学間ネットワークの構築

■ 国内大学とのネットワーク

- ・グローバル5大学交流協定
(国際教養大／国際基督教大／立命館アジア太平洋大／早稲田大／上智大)
SDプログラム、留学フェアなどを合同で実施
- ・英語によるプログラム実施や日本語教育についての他大学との連携セミナー
「『英語で専門科目を教える』を考える」シンポジウム
「CLILと日本語教育」講演会・ワークショップ
- ・国内カトリック系大学との連携
海外カトリック教育機関で実施されるプログラム運営の連携・協力



2012年9月「『英語で専門科目を教える』を考える」シンポジウム

■ 海外大学とのネットワーク

- ・AJCU-AP (アジアパシフィック イエズス会大学連盟)
東アジアのカトリック大学の学生と共に、教育研究と途上国の地域社会への貢献に関連づけた活動を実践するサービスマンシッププログラムを実施
- ・ASEACCU (東南アジアおよび東アジアカトリック大学連盟)
年に一度メンバー校による総会・学生会議を開催
国際的な課題についてカトリック教育機関として果たす役割などを議論
- ・GAJU (Global Asian Jesuit Universities)
- イエズス会・東アジア5大学グローバルリーダーシップ・プログラム
運営大学 (韓国: Sogang、台湾: Fu Jen、フィリピン: Ateneo de Manila、インドネシア: Sanata Dharma、日本: Sophia)
毎年8月に選ばれた学生が一同に集い、討議、フィールドワーク等を重ねながら、国際理解とは何かを学ぶプログラム
- ・ACUCA (アジア・キリスト教大学協会)
SMS (Student Mobility Scheme)により加盟校同士の学生交流を促進



2013年8月韓国西江大学にてイエズス会・東アジア5大学グローバルリーダーシップ・プログラム

留学生支援体制の充実

■ 言語教育研究センター

全学の言語教育の抜本的改革と充実を図るために2012年4月に開設。アカデミック・コミュニケーション能力の育成を目指す

- ・LLC (Language Learning Center)を開設
- ・言語チューター制度 (日本語の他、英・仏・独・西・中・韓で対応)
学生のニーズに合わせて指導 (「日本語」チューター年間利用者数55名)
- ・ライティングチューター制度 (日・英)
レポート・論文の文章力向上のための指導を行う (留学生利用者数6名)
- ・オフィス・アワー (日本語の他、英・独・西・中・韓で対応)
学習上の不明点など質問・相談に応じる (「日本語」の利用者数15名)



LLCを利用する留学生

■ 祖師谷国際交流会館

- ・2012年4月に運用開始
- ・全362室あり、海外からの教員・研究者のために家族寮も設置
- ・短期プログラム参加者も利用可能
- ・学生ボランティアによるイベント運営、新規入寮者のサポート
- ・入寮者数227名 (2013年10月現在)
留学生155名 (中国31、韓国22、米国20、ドイツ17など計37カ国)
日本人72名



祖師谷国際交流会館

■ 留学生支援ネットワーク

- ・マルチリンガル体制で部署間の連携を強化
- ・留学生向けカウンセリングの強化
- ・留学生対応に関する情報、課題を定期的に共有し、各部署の業務改善を実施



留学生支援ネットワークロゴを作成し、学生対応部署窓口にパネルを設置

■ キャリア支援

- ・留学生向け合同企業説明会
- ・留学生求職者とインターンシップ希望者向けデータベースの構築

■ 外国人留学生対象奨学金

- ・新入生奨学金による学費全学免除 (地球環境学研究科)
- ・ミャンマー留学生のための奨学金
- ・プリチストン・インドネシア留学生奨学金
- ・私費留学生を対象とした就学奨励奨学金や篤志家奨学金など多数設置

産業界・国際機関との連携

■ 経団連との共同講座「グローバル人材育成モデル・カリキュラム」

高い語学力や異文化適応力などを兼ね備えた人材が、産業界から強く求められている一方で、大学が育成する人材とミスマッチがあるとの指摘も少なくない。国際ビジネスの現場で活躍する人材を育成するための実践的教育を強化する施策の一つとして開講。

双方向性を重視した実践的なカリキュラム構成で、企業の事業活動の現状と課題、今後の戦略などについて学生の理解を深めた。同時にグローバル人材として活躍するための資質や能力を磨き、進路や職業観をより深く考える機会となった。

- ・導入講座「グローバル・ビジネスの現状と課題」を2012年度より開講
- 受講対象：2年次生・TOEFL500(iBT61)、TOEIC660、英検準1級以上
- 講師はグローバル企業12社の実務担当者
- 講義、課題レポートの提出、グループ討議、プレゼンテーションを実施し、双方向性を重視した実践的なカリキュラム構成
- ・2013年度春学期より、導入講座を修了した3年次生以上の講座「グローバルビジネスのフロンティア」を開講
- グローバルなキャリアを追求する学生に、グローバル・ビジネスの実態についての講義を提供し、より高度で実践的なグループ討議、プレゼンテーションを実施



講師とのディスカッション風景

■ 国際機関との連携

- ・国連世界食料計画 (WFP) と教育連携に関わる協定を締結
- ・国際協力機構 (JICA) と「国際協力に関する戦略的合意書」を締結
WFP、JICA職員を講師とする全学共通科目を提供するほか、講演会、シンポジウムを通して、学生の国際貢献についての理解を深める